

NEWS RELEASE

2018-11

2018.11.15



Welcome! KANSAI, Japan.

神戸線・宝塚線・京都線で運行中の ラッピング列車のデザインをリニューアルします！ ～運行期間を来年10月末まで延長～

阪急電鉄では、沿線の活性化と旅客誘致を目的に、本年3月17日(土)から神戸線・宝塚線・京都線の各線でラッピング列車(愛称:神戸線「爽風」^{KAZE}・宝塚線「宝夢」^{YUME}・京都線「古都」^{KOTO})をそれぞれ1列車運行していますが、今般、デザインをリニューアルし、11月17日(土)から新たに運行を開始します。また、運行期間は当初予定の2019年3月31日(日)までを、2019年10月31日(木)まで延長します。

引き続き、神戸線はイラストレーターの中村佑介さん、宝塚線は劇画家・声楽家の池田理代子さん、京都線はイラストレーター・絵本作家の永田萌さんのデザインとし、それぞれの作風や世界観により、各沿線の観光スポットなどを車両に表しています。

なお、このラッピング列車の運行は、観光庁が実施している「関西インバウンド観光リバイバルプラン」の一環としても位置付け、沿線の魅力を国内外に向けて広く発信してまいります。

[車両のラッピングイメージ 左:神戸線 中:宝塚線 右:京都線] ※詳細は別紙1をご参照ください



【添付資料】別紙1・・・各車両のラッピングイメージ

別紙2・・・各ラッピング列車のデザイン作者のご紹介

<ご参考>・・・ベルサイユのばら上演45周年記念イベントについて

【リリース同時配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、関西レジャー記者クラブ

神戸線のラッピング列車「^{KAZE}爽風」 <デザイン作者：中村 佑介（イラストレーター）>

時間によって顔を変える神戸のまちを4つの「時」に分け、それぞれの時間に漂う空気感を女性に見立て、移ろいゆく神戸のまち並みを、中村佑介さんの世界観で表現します。

【暁の神戸】 風見鶏の館・うろこの家・うろこ美術館
梅田方から1両目



【午刻の神戸】 神戸ポートタワー・神戸海洋博物館
梅田方から3両目



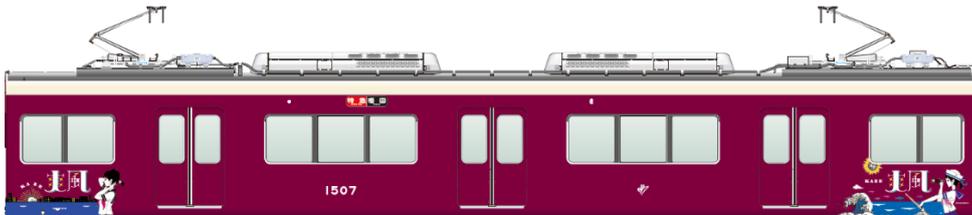
【黄昏の神戸】 旧神戸居留地十五番館・商船三井ビルディング
梅田方から6両目



【宵の神戸】 神戸市立六甲山牧場・自然体感展望台 六甲枝垂れ
梅田方から8両目



愛称「爽風」を掲出
梅田方から2・5両目



梅田方から4・7両目



宝塚線のラッピング列車「宝夢」^{YUME} <デザイン作者：池田 理代子（劇画家・声楽家）>

池田理代子さんの代表作「ベルサイユのばら」に登場する主要キャラクターが沿線のスポットへとアテンドし、その魅力や風景を伝えます。

【宝塚】花のみち・宝塚大劇場（外観）
梅田方から1両目



【箕面・豊中】明治の森箕面国定公園・服部緑地
梅田方から3両目



【川西・池田】新猪名川大橋（愛称：ビッグハープ）・五月山緑地
梅田方から6両目



【宝塚】宝塚大劇場（ロビー・劇場内）
梅田方から8両目



愛称「宝夢」を掲出
梅田方から2・5両目



梅田方から4・7両目



京都線のラッピング列車「^{KOTO}古都」<デザイン作者：永田 萌（イラストレーター・絵本作家）>

現在、車両の両面に用いている「和風」のデザインを、片面は「洋風」のデザインに変更します。車両の両面を異なるデザインとするのは初めての試みであり、永田萌さんの描く「花と妖精」が京都の観光スポットへと誘います。

【春】

梅田方から1両目
(洋) 西面



(和) 東面



【夏】

梅田方から3両目
(洋) 西面



(和) 東面



【秋】

梅田方から6両目
(洋) 西面



(和) 東面



【冬】

梅田方から 8 両目

(洋) 西面



(和) 東面



愛称「古都」を掲出

梅田方から 2・5 両目

(洋) 西面



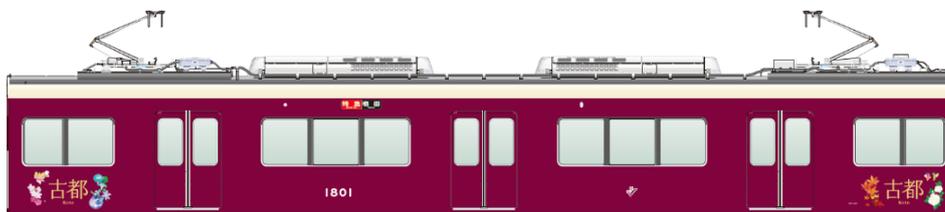
梅田方から 4・7 両目

(洋) 西面



梅田方から 2・4・5・7 両目

(和) 東面



各ラッピング列車のデザイン作者のご紹介

KAZE
 ■神戸線「爽風」

中村 佑介（なかむら ゆうすけ）さん イラストレーター

1978 年生まれ、兵庫県出身のイラストレーター。大阪芸術大学デザイン学科卒業。ASIAN KUNG-FU GENERATION（アジアン・カンフー・ジェネレーション）、さだまさしさんの CD ジャケットをはじめ、『謎解きはディナーのあとで』、『夜は短し歩けよ乙女』、音楽の教科書など数多くの書籍カバーを手掛ける。画集『Blue』と『NOW』は 13 万部を記録中。初の教則本『みんなのイラスト教室』、ぬりえブック『COLOR ME』やデビュー 15 周年画集「BEST」、「2019 カレンダー」も話題に。

YUSUKE NAKAMURA.net <http://www.yusukenakamura.net/>



YUME
 ■宝塚線「宝夢」

池田 理代子（いけだ りよこ）さん 劇画家・声楽家

大学在学中より劇画を描き始め、1972 年に連載を開始した『ベルサイユのばら』は社会現象ともいえる大ヒットとなり、今もなお国際的な人気を博する。『オルフェウスの窓』で日本漫画家協会優秀賞受賞。代表作は他に『栄光のナポレオン エロイカ』、『女帝エカテリーナ』、『ベルばら Kids』など。1999 年東京音楽大学声楽科を卒業、現在はソプラノ歌手として活動する傍ら、2013 年からは『ベルサイユのばら—エピソード編』、2014 年には『まんが日本の古典 竹取物語』などを執筆。2009 年、日本においてフランスの歴史や文化を広めた功績に対し、フランス政府よりレジョン・ドヌール勲章を贈られた。

池田 理代子オフィシャルサイト <http://www.ikeda-riyoko-pro.com/>



◎大野愛子

KOTO
 ■京都線「古都」

永田 萌（ながた もえ）さん イラストレーター・絵本作家

花と妖精をテーマにした作風で、画業 40 年を過ぎた現在も第一線で筆をとる。画集や絵本など、約 170 冊を出版。一方、広告媒体や企業商品などの商業アートに加え、公共機関に設置される陶板画など作品展開は幅広い。日本郵便発行の切手も 39 種を制作した。これまでに国内外約 200 会場で作品展を開催。近年はタブロー制作にも着手している。2016 年より京都市こどもみらい館 館長、2018 年より姫路市立美術館 館長を務める。兵庫県生まれ、京都市在住。

株式会社 妖精村の公式サイト <http://www.yohseimura.co.jp/>



ベルサイユのばら上演45周年記念イベントについて

＜ご参考＞

宝塚歌劇団において1974年に初演し、空前の大ヒットを記録した「ベルサイユのばら」は、宝塚歌劇を代表する演目として、初演から45年を経てなお、多くのお客様から好評をいただいています。

来年、(株)梅田芸術劇場では、宝塚歌劇における「ベルサイユのばら」の初演から45周年を記念したイベントとして「ベルサイユのばら45」を東京・大阪にて上演します。元宝塚歌劇団トップスターたちによる歌やトーク、まだ記憶に新しい名場面やフィナーレナンバー等を通じて、「ベルサイユのばら」の歴史を鮮やかに華やかに振り返ります。

「ベルサイユのばら45」～45年の軌跡、そして未来へ～
池田理代子原作「ベルサイユのばら」より

東京公演：2019年1月27日（日）～2月9日（土） 東京国際フォーラムホールC
大阪公演：2019年2月16日（土）～24日（日） 梅田芸術劇場メインホール

チケット一般発売は11月17日（土）開始【東京・大阪共通】

お問い合わせ：梅田芸術劇場 06-6377-3800 <http://www.umegei.com/versailles45/>

(以上)